

大会宣言

本日、私たち連合北海道は「働くことを軸とする安心社会～まもる・つなぐ・創り出す～」に向けた社会経済のステージ転換を確かなものとするべく、第37回年次大会を開催し、向こう1年間の活動方針を確認した。

不安定な雇用の拡大、格差・貧困の広がり、労働力人口の減少など、わが国の構造的な課題が深刻さを増す中、現下の物価上昇が国民生活を圧迫している。こうした中、働く仲間の声と力で、誰もが将来に希望をもって働き、生活できる社会へ変えていかなければならない。私たちは「人への投資」と継続的な賃上げ、格差是正、適正な価格転嫁、そして安心社会につながる政策・制度実現の取り組みに、より一層まい進していく。

あらゆる運動は仲間の広がりなくしては進まない。私たちは、集団的労使関係の輪を社会の隅々に広げるため、連合北海道の総力を挙げて組織の拡大・強化に取り組むと同時に、連合運動への理解・共感・参加を広げ、社会からの期待にこたえていくため、私たち自身の変革も必要である。今年は連合「改革パッケージ」3期6年の最終取り組み年である。加速する人口減少や技術革新、社会経済情勢の変化を踏まえつつ、あらゆる運動におけるジェンダー平等・多様性の推進に注力するとともに、連合本部が掲げる改革パッケージを着実に実践していく。

また、世界では、長期化するロシアによるウクライナ侵略や中東紛争、ミャンマーなどにおける人権・労働基本権の侵害が後を絶たない。私たちは、平和、人権、民主主義をまもるべく、国際労働運動の仲間をはじめ、多様な主体と連携しながら取り組みを進めていく。

私たちは、大会スローガンである「社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう～仲間の輪を広げ 安心社会をめざす～」のもと、すべての働く仲間にとって「必ずそばにいる存在」として、組織全体で思いを一つにし、労働組合の社会的価値を広く訴えながら、力強く運動を進めていくことを、ここに宣言する。

2024年12月17日
連合北海道第37回年次大会